



2021年7月15日

各 位

会 社 名 株式会社 トップカルチャー
代表者名 代表取締役社長 COO 清水 大輔
(コード番号 7640・東証 第1部)
問 合 せ 先 取締役財務部長 CFO 吉田 勝一
T E L 025-232-0008
<https://www.topculture.co.jp>

事業撤退及び特別損失（事業撤退損）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（以下、CCC という）に FC 加盟し事業展開しておりますレンタル事業（以下、当該事業という）から撤退することを決議いたしました。

また、これに伴い 2021 年 10 月期第 3 四半期連結会計期間において特別損失を計上いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 撤退する事業

FC 加盟部門 レンタル事業

2. 事業撤退の理由

当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、当該事業は創業以来主力として売上を牽引しておりましたが、近年のスマホの普及や動画配信サイトの隆盛により、レンタル市場自体が縮小傾向となり、当該事業の売上は前年比を下回り続け、コロナ禍による生活様式の変化も進み、特に近年大幅に下がりました。お客様の映像や音楽の楽しみ方の変化により、レンタルの利用が減ってきていることに加えて、これが今後益々加速度的に進むことが想定される中において、当社グループといたしましても、事業転換することで、更なる発展と収益性の向上を図っていくこととし、CCC と当該事業の撤退について協議を重ね、2023 年 10 月期までに撤退することを決定しました。今後は、書籍販売事業や特撰雑貨・文具などの販売や新規事業に資源を集中し、財務基盤を強化してまいります。

なお、今後の成長戦略につきましては、本日付の当社リリース「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 特別損失の計上

当該事業の撤退に伴う事業撤退損 21 億円を特別損失に計上いたします。

4. 業績に与える影響

上記特別損失が業績に与える影響につきましては、本日付の当社リリース「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上